

脳卒中予防に関する講演会の概要

日時：令和6年10月31日(木)

場所：大船渡地区合同庁舎4階大会議室
(会場及びオンライン配信)

演題 診療所の医者が脳梗塞になって ～自ら実践した急性期の失語症リハビリテーション～

講師 陸前高田市国民健康保険広田診療所 所長 坪井 潤一 氏

【要旨】

脳梗塞の発症当日から診療に復帰されるまでの約2カ月の間に、失語症のリハビリとしてご自身が実践された取組について時系列に詳しく紹介していただきました。

【質疑】

- 発症に至った原因は何だご自分で思われますか。
今まで前職までの時代も含めて、ストレスをずっと感じて生活しているとその蓄積でいずれこういうことになることはあるのかなと思っていた。
- 今思い返して、ちょっとここは日頃とは違ったなという予兆のようなものはありましたか。
すぐ改善したからその時は思わなかったが、スマホの文字が浮かばないことが1、2回あったが、それがど忘れだったのか予兆だったのかそれは分からない。
ただ、医療従事者の自分ですらそうなので一般の人はそこまで認識できるかどうか分からない。
- お酒飲まれますか。また、日常生活で気を付けていることがありますか。
岩手医大に赴任してからは全然飲んでないし、たばこも吸わない。
もう1つは、この病気になってから減塩に取り組んでいる。塩気はできるだけ少なくしている。

